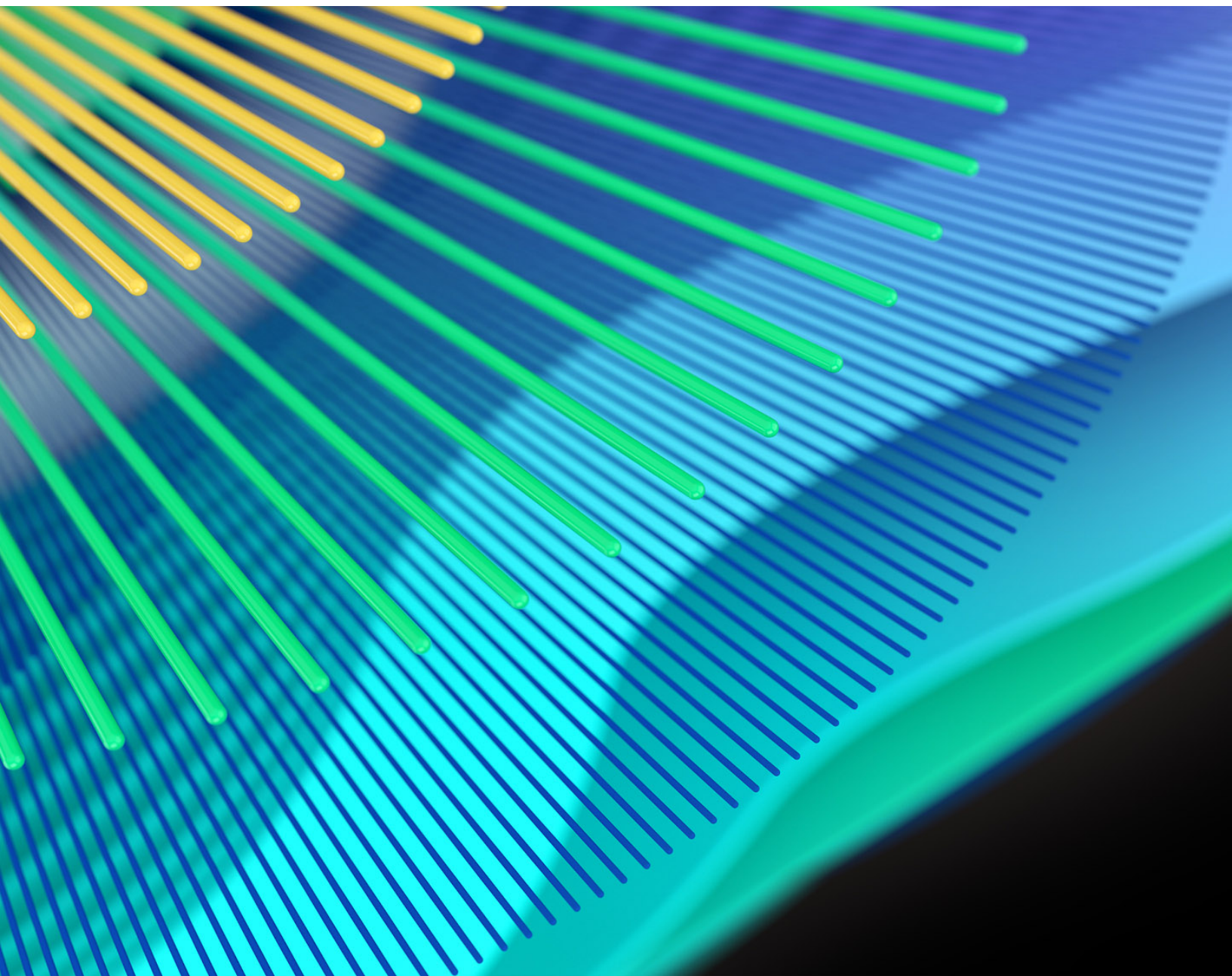


ScholarOne Manuscripts リリースノート

リリース v4.26.1

2020 年 2 月



概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。新機能の中には、管理者または ScholarOne の担当者が有効にしないと使用できない機能もあります。許可や構成に関するご質問は、発行者チームまたは ScholarOne にお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

このリリースに記載された事項に関するご質問は、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) にお問い合わせください。

内容

1. [Code Ocean の統合](#)
2. [Submission Prefill の更新と正規版の開始](#)
3. [UNSILO のテクニカルチェック機能の統合](#)
4. [文書分析ツールへのジャーナルマッチングウィジェットの追加](#)
5. [改定後に追加された著者のセクション](#)
6. [著者センターと査読者センターのページネーション](#)
7. [ORCID iD の即時保存](#)
8. [辞退した査読者の再依頼](#)
9. [E メールテンプレートのバージョン管理の更新](#)
10. [検索のナビゲーションの改善](#)
11. [タイトルへのツールチップの追加](#)
12. [E メールテンプレートとページ説明用のリッチテキストエディタ](#)

備考: このリリースには DTD または ISO の変更は含まれません。

リリース 4.26.1 で改善された機能

1. Code Ocean の統合

ScholarOne パートナープログラム

Code Ocean も参加する新しい ScholarOne パートナープログラムでは、投稿とピアレビューのワークフローで業界をリードするサードパーティのテクノロジーを活用できます。詳細と他のパートナーについては、[こちらの Web サイトをご覧ください。](#)

Code Ocean の統合により、再現性に優れた研究プラットフォームを使用して、発行済みの研究、作業コードとデータをベースに完成度の高い論文を作成できます。また、この統合により、再現性のベストプラクティスの実現が簡略化されます。Code Ocean の詳細については、<https://codeocean.com/> をご覧ください。

ユーザー

著者

編集者

管理者

必要なアクション

この統合はデフォルトでは無効になっています。ScholarOne のサイトと Code Ocean の統合を計画している発行者は、詳細について、Code Ocean のビジネス開発ディレクターの Pierre Montagano (pierre@codeocean.com) に連絡してください。

詳細と構成

Code Ocean との統合により、論文投稿プロセスと研究者が使用する関連データ/コードのデポジットも統合されます。Code Ocean のプラットフォームでは、発行済みの研究に加え、コード、データ、および元のコンピュータ環境を実行可能なカプセルに保存できるため、再現性が強化されます。

参加サイトに投稿するときに、コードを投稿するかどうかを尋ねる簡単な質問に [はい] か [いいえ] で回答します。

助成内容

*** この論文には報告すべき助成はありますか。**

☒ はい
 ☐ いいえ

助成機関 ?

操作	助成機関	交付/授与番号
助成機関は登録されていません。		

助成機関の追加



Code Ocean [?](#) でコードとデータを共有します。Code Ocean は、読者がブラウザから実行し、ボタンをクリックするだけで結果を再現できる計算再現性プラットフォームです。コードには DOI が割り当てられ、公開作業の隣に表示されます。

*** 投稿には、デポジットする関連コードが含まれていますか?**

(「はい」の場合、投稿完了時に簡単なデポジット手順が示されます。)

☒ はい
 ☐ いいえ

[はい] と回答すると、論文の送信後に安全なリンクが提供されます。この API を使用したリンクを使用して、関連する論文のメタデータとともに Code Ocean に移動します。データとコードを登録すると、Code Ocean の検証済みの「コンピュートカプセル」が ScholarOne で の投稿に自動的にリンクされます。

Thank you for your submission

Submitted to QA - Red Site

Manuscript ID WRK1-1770

Title Code Ocean

Authors Conley, Stacy

Date Submitted 06-Dec-2019



Earlier you noted your submission includes relevant code you would like to deposit. [Follow this link](#) to Code Ocean to make your code deposit. Your Code Ocean compute capsule will be automatically linked to your submission.

Author Dashboard [▶](#)

2. Submission Prefill の更新と正規版の開始

備考

Submission Prefill のベータ版では著者が投稿を完了するのに必要な時間が大幅に短縮され、投稿時間の中央値は平均 25% も減少しました。

ベータ版では合計 1,282 件の投稿が処理されました。

既存の著者を追加する方法が改善されました。投稿者は、既存のアカウントと一致しない共著者を Submission Prefill に取り込むデータの一部として簡単に追加できるようになりました。これにより、ツールの主な使用性の問題の 1 つが解決されるため、「ベータ版」としてではなく正規版として ScholarOne アカウントに提供することが決定しました。

ユーザー

著者

必要なアクション

お使いのサイトで Submission Prefill を有効にするには、ScholarOne の製品サポートにご連絡ください。Submission Prefill がすでに有効になっている場合、設定は

詳細と構成

[著者と所属機関] のステップでは、著者の情報が不完全な場合に警告する新しいアイコンが著者名の横に追加されました。このアイコンが追加される以前は、投稿者はページを保存するまで著者レコードに不完全な情報があることに気づけませんでした。アイコンの上にカーソルを置くと、[アクション] 列の [編集] をクリックして [著者] のレコードを更新するよう投稿者に警告が表示されます。

Authors

* Selected Authors [Edit](#)

	ORDER	ACTIONS	AUTHOR	INSTITUTION
 Drag	1	Select...	Dr. Anna Lytics (Corresponding Author) anna.lytics@clarivate.com	1. University of Virginia Charlottesville, USA 22903-1738
 Drag	2	Select...	 Claire Ivate	1. Virginia Tech
Required Field(s) for this user are incomplete. Please click Edit under the Action column and answer all required fields.				
Update Author Order				

[著者の編集] モーダルでは、著者名の情報の上に [E メール] が表示されます。[E メール] フィールド以外の場所をクリックすると、入力した E メールに関連付けられたアカウントがシステム内に存在するか自動的に確認されます。

著者の編集

✕ 特殊文字

ORCID ID

* E-Mail:

* 敬称:

* 名:

ミドルネーム:

* 姓:

所属機関名 1

E メールアドレスのアカウントが存在する場合、ユーザーには「この作成者ですか？」というメッセージが表示されます。

Did you mean this Author? ⓘ [Edit](#)

Dr. Claire Ivate

Clarivate Analytics Inc

Education

1500 Spring Garden Street

Philadelphia, Pennsylvania, USA, 19130-4067

claire.ivate@clarivate.com

◀ No

Yes ▶

[いいえ] を選択すると、[著者の追加] / [著者の編集] モーダルに戻って新しい E メールアドレスを入力できます。

[はい] を選択すると、既存のアカウントが投稿に直接追加され、部分的に取り込まれた共著者データを消去して共著者を検索する時間を節約できます。

3. UNSILO のテクニカルチェック機能の統合

UNSILO のテクニカルチェック機能が文書分析画面に統合されました。この新しいウィジェットでは、UNSILO の AI が以下のような情報を自動的に検証して編集者に表示するため、ピアレビューへの論文の送信の判断が簡略化されます。

- 倫理に関する記述
- 資金調達に関する記述
- 利益相反に関する記述

UNSILO で現在提供される検証のリストは、<http://technicalchecks.unsilo.ai> で入手できます。検証は毎月追加されます。

ユーザー

編集者

必要なアクション

この機能を使用するには UNSILO との契約が必要です。詳細については、UNSILO (sales@unsilo.ai) にお問い合わせください。

備考

UNSILO も ScholarOne パートナープログラムのパートナーです。統合を合理化し、新規の発行者のサービスへのオンボーディングをサポートします。

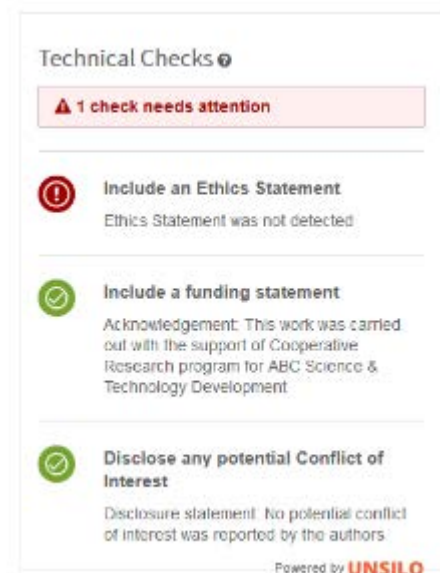
詳細と構成

テクニカルチェックツールには以下のような利点があります。

- 重要な情報を損失する可能性が減少します。
- 「機械的」な作業が自動化され、論文の検証が加速されます。
- 編集者の最初の選別の前の論文の確認作業にかかる時間の約 87%、査読前に著者に論文を返送する時間の約 33%、および受け入れ前に論文を 2~3 回検証する時間の約 56% を削減できます。

この機能の使用に関する契約を UNSILO と締結されたら、ScholarOne サポートに連絡してサイトでツールを有効にします。

編集者がこの機能を使用するには、[論文詳細] の [文書分析] ボタンをクリックします。



備考: これは説明用の例です。結果は投稿によって異なります。

4. 文書分析ツールへのジャーナルマッチングウィジェットの追加

文書分析ツールに「Top Journal Matches」（ジャーナルの上位一致）という独自の新しいウィジェットが追加されました。このウィジェットでは Web of Science Group の機械学習ツールである Manuscript Matcher を使用して、Web of Science 内から投稿に最適なジャーナルが検索されます。

これは論文の受け入れ、拒否、転送を判断する編集者にとって貴重な情報です。この検索には、新しい [Master Journal List のサイト](#)を使用することもできます。

ユーザー

編集者

必要なアクション

文書分析ツールを活用する方法については、ScholarOne 製品サポートにお問い合わせください。このウィジェットは、文書分析ツールの他のウィジェットとは独立して表示されるように構成できます。

詳細

このウィジェットには、Web of Science 内の上位 10 件のジャーナルの一致と以下が表示されます。

- 全体的な一致のスコア（他の結果との相違を確認）
- ジャーナル名、ISSN、Web アドレス
- 投稿に関連する用語とそのスコア

編集者がこの機能を使用するには、[論文詳細] の [文書分析] ボタンをクリックします。

Top Journal Matches

1. JOURNAL OF CHIMERICAL BEHAVIOR

Overall Match Score: 0.73

ISSN: 1234-5678

Site: <https://www.example.com>

Related Terms & Scores:

- fanciful 0.90
- nonconjugated falsities 0.90
- internal apocryphal effect 0.67
- ecclesiastical complex 0.63
- spurious dots 0.56
- delusive-derived polymer 0.51

2. FICTIVE LETTERS

Match Score: 0.64

備考: これは説明用の例です。結果は投稿によって異なります。

5. 改訂後に追加された著者のセクション

[異常なアクティビティの検出] レポートの改訂後に追加された著者のために新しいセクションが作成されました。これは、ScholarOne がお客様のご要望を実現した 2 番目の事例に当たり、著者の権限を販売するサイトが最近公開されたことを受けて追加されました。4.26 のリリースで追加された新しい構成オプションでは、改訂中に著者による変更を禁止できます。この新しい機能は構成オプションが無効になっていることが前提になります。

ユーザー

著者の不正行為に関する詳細情報

Web of Science Group では学術記録の整合性を保護し、出版における新たな形態の不正行為を検出することに尽力しています。詳しくは、[こちらのブログをご覧ください。](#)

管理者

必要なアクション

なし（異常なアクティビティの検出ツールが有効な場合）。異常なアクティビティの検出ツールの使用方法については、ScholarOne の製品サポートにお問い合わせください。

詳細と構成

異常なアクティビティの検出レポート（UAD）では、改訂時に追加された著者の名前が2つのセクション（投稿者が追加した著者のセクションとジャーナルのスタッフが追加した著者のセクション）に表示されるようになりました。他の UAD のトリガーと同様にカスタマイズでき、感度の設定も調整できます。

Author(s) added during latest revision by submitter ⓘ

1. F. [redacted]
 <https://orcid.org/0000-0000-0000-0000> ✓
University of Colorado Boulder
Boulder CO United States

6. 著者センターと査読者センターのページネーション

著者センターと査読者センターのキューにページネーションが追加され、多作のユーザーはバックログを簡単にナビゲートできるようになりました。また、この変更により、大量のデータがあるページの動作が停滞する問題も解消されました。

ユーザー

必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

著者

査読者

詳細と構成

項目数 / ページ: 5 1 - 5 / 8

⏮ ⏪ ⏩ ⏭

ページネーションが追加されたページは以下のとおりです。

査読センター

- 投稿済みスコア
- Publons での認知の受理
 - [すべて選択] を使用すると、ページのすべてのアイテムが選択されます。

著者センター

- 査読済み論文
- 共著論文
- 投稿済み論文

ページネーションを使用すると、ユーザーは 10 件（デフォルト）、25 件、または 50 件ずつ表示できます。

7. ORCID iD の即時保存

[アカウント設定] のプロセスで ORCID iD の取得を設定すると、画面を移動するときにそのフィールドへの変更が即時に自動保存されるようになりました。

旧版では、[アカウント設定] のすべてのプロセスを完了しないと ORCID iD の追加、削除、変更は有効になりませんでした。

ユーザー

すべて

必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

詳細

旧版の機能では、ORCID に関連するアカウントの変更は、[アカウントの作成]/[アカウントの編集] プロセスの 3 番目の手順で [完了] をクリックするまで保存されませんでした。

4.26.1 では、ORCID の変更は変更の直後に保存されるようになりました。

アカウント の編集

以下のボックスの値を変更して、氏名と e-mail 情報を編集できます。必須フィールドには「必須」のマークが付いています。終了したら、[次へ] をクリックします。

1 E-Mail/氏名
2 所属
3 ユーザー ID とパスワード

次へ キャンセル

ORCID®

必須  <https://orcid.org/0000-0003-4953-9288> 範囲

ORCID ID の更新
削除

ORCID (Open Researcher and Contributor ID) IDは、個々の研究者を一元的に管理するための識別子です。詳細については、<http://orcid.org/content/initiative> をご覧ください。

名前  特殊文字

敬称: 博士 必須
名: Lei 必須
ミドルネーム: Tester
姓: Chen 必須
学位:
E-Mailアドレス1: chenlei@thomsonreuters.com 必須
E-Mailアドレス1 (再入力): chenlei@thomsonreuters.com 必須
Cc用E-Mailアドレス1:
E-Mailアドレス2:
E-Mailアドレス2 (再入力):
Cc用E-Mailアドレス2:

次へ キャンセル

8. 辞退した査読者の再依頼

[選択]、[依頼]、[アサイン] のプロセスに [再依頼] ボタンが追加されました。査読者が最初に依頼を辞退した場合、管理者または編集者は、新機能の [再依頼] ボタンをクリックして、依頼を辞退した査読者に簡単に再依頼できます。この機能により、依頼が誤って辞退された場合の既存の処理が簡略化されます。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

11

詳細と構成

Reviewer List				
Order	Name	Status	History	Remove
1 ▼	 Ivate, Claire Web of Science Group, ScholarOne	Declined ☒ Invite Again	Invited: 30-Dec-2019 Declined : 30-Dec-2019 view full history	

9. E メールテンプレートのバージョン管理の更新

E メールテンプレートの表に [更新済み] という新しい見出しの列が追加され、テンプレートが最後に更新されたときのジャーナルの管理者と編集者が表示されるようになりました。この変更により、バージョン情報へのアクセスが簡略化され、最近更新されたテンプレートを容易に確認できるようになります。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

詳細

E-Mail Templates	Default	Active	Modify	Delete	Updated
req ? Hyperlink E-Mail (From Within Mss Details) - add template					
Test	☐	☒			09-April-2019
all infoHyperlink E-Mail (From Within Mss Details)	☐	☒			21-June-2019

10. 検索のナビゲーションの改善

高度な論文検索結果に [新規検索] と [検索条件の変更] のヘッダーオプションが追加されました。これにより、新規検索が簡略化され、既存の検索を結果から直接更新できます。ま

た、ジャーナルの管理者と編集者ための既存の高度なユーザー検索のオプションを反映して、ユーザーエクスペリエンスの一貫性を強化しています。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

詳細

検索結果

結果

新規検索 - 検索条件の変更

論文 1-1 / 1

検索条件: 論文 ID = "WRK4-2019-0035.R1"

論文 ID ↑	論文タイトル	投稿日 ↓	ステータス	作業を行う
論文種別	審査(投稿者)			
WRK4-2019-0035.R1	Review Test [論文を見る]	2019-12-8	副編集者: Chen, Lei 編集長: Chen, Lei 管理者: Chen, Lei	選択... ▼
元の記事	 Chen, Lei (代理操作)		* リジェクト (2019-12-8)	

 CSV 形式でエクスポート

論文 1-1 / 1

11. タイトルへのツールチップの追加

メモ機能が有効な管理者センターのタイトルにツールチップが追加されました。マウスをメモのタイトルに移動すると、ポップアップにメモのタイトルと全文が表示されます。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

詳細

メモ				
すべてのメモの表示				
タイトル	更新者	更新日時	編集	削除
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore	Chen Lei - 管理者	2020-1-29 6:52:25		
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore: Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore :Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua.Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat. Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.				

12. E メールテンプレートとページ説明用のリッチテキストエディタ

E メールテンプレートとページ説明に使用するリッチテキストエディタが追加され、HTML タグを使用せずにコピーを簡単にフォーマットできるようになりました。

ユーザー

必要なアクション

この機能を有効にするには、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) にご連絡ください。

編集者

管理者

詳細

このリッチテキストエディタでは、旧版で提供されていたすべての HTML 機能がわかりやすい WYSIWYG インターフェースで提供されます。

旧版のツールでは、HTML とプレーンテキストを切り替えると Eメールの改行が削除されましたが、4.26.1 リリースではこの問題が修正されました。この更新により、このツールはベータ版ではなく正規版としてすべてのクライアントが使用できるようになります。

主な問題修正と機能の最適化

- 作業履歴
 - 作業履歴の [前を表示] リンクに過去の値が表示されない問題が修正されました。
- バッジとタスクの延長

備考

ScholarOne では次のリリースまでの間に多数のバッチとホットフィックスを提供し、プラットフォームの継続的な改善に努めています。その多くはプロセスの最適化を目的としているため、ワークフローには影響しません。これらの変更に関するご質問はサポートにお問い合わせください。

- バッジの追加を設定された役割が [詳細情報] から査読者や招待著者の延長を許可できない問題が修正されました。
- **属性**
 - [属性] への変更を同じ画面で 2 回目の保存を行ったときのエラーメッセージの問題が修正されました。
- **査読者の接続**
 - [詳細情報] ウィンドウで [査読者の接続] から査読者を追加するときにカテゴリのドロップダウンが表示されない問題が修正されました。
- **論文の譲渡**
 - 送信するジャーナルに論文を譲渡するよう設定されていないと、譲渡された投稿取り消し済み論文のキューが受信者のジャーナルに表示される問題が修正されました。
- **ユーザー検索**
 - 管理者センターの [検索結果がありません] ページに [新しいユーザーアカウントを作成] リンクが表示されない問題が修正されました。

詳細のお問い合わせ先

ScholarOne 製品サポート
s1help@clarivate.com

電話番号: 888 503 1050 (米国) または
0800 328 8044 (英国)
月曜日午前 12:00～金曜日午後 8:30 (東部標準時)

webofsciencegroup.com

Web of Science Group について

Clarivate Analytics の *Web of Science Group* が管理する世界の研究情報は、研究を加速するために多様な学界、企業、出版社、政府で利用されています。また、そのために出版社に中立な世界最大のサイテーションインデックスとリサーチインテリジェンスのプラットフォームである *Web of Science* が活用されています。そのほかにも、*Converis*、*EndNote*、*Kopernio*、*Publons*、*ScholarOne*、*Institute for Scientific Information (ISI)* などの有名ブランドを提供しています。Web of Science Group の「大学」である ISI はインデックス、関連情報、分析コンテンツ、サービスを構築する基盤となるナレッジベースを管理し、イベント、会議、出版物を通して外部にその知識を広め、調査を実施してナレッジベースの維持、拡張、改善に努めています。詳細については webofsciencegroup.com をご覧ください。

© 2019 Clarivate Analytics. All rights reserved. Clarivate Analytics から書面で事前に同意を得ずに構成などの手段によって Clarivate Analytics のコンテンツを再発行または再配布することは禁止されています。Web of Science Group とそのロゴ、および本文書で使用されている他のすべての商標はそれぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。